学校だより

大いちょう No.14

令和５年１２月　１日発行
ひたちなか市立津田小学校
TEL　２７４－２０１０

温かな励ましが頑張る気持ちを支えます

１２月になりました。花壇には、栽培委員会とさくランボランティアが植えたパンジーが並んでいます。１１月は学校での公開授業や、市や県の芸術祭などを目標にして、得意な分野で力を伸ばしたり、努力の成果を発揮したりしました。津田フェスティバルや持久走大会には、たくさんの方にご参観をいただきました。授業やランランタイムで練習を重ね、目標をもって臨んだ子ども達にとって、皆様からの温かな拍手や声援が大きな励みになりました。

気温が下がり、空気が乾燥するこの時期に、本校でもインフルエンザの流行が続いています。今年の締めくくりの１２月も元気に過ごせるように、手洗い、うがい、マスクなどの感染症対策をしっかり行っていきます。

津田フェスティバル　１１／８

今年度は、防犯パトロール隊とさくランボランティアをお招きして、学年毎に合唱や合奏を披露しました。各学年で、音楽の授業で学んだ曲の中から、皆が楽しめる曲を選びました。感染症対策から、会場は４～６年の部と１～３年の部で入れ替えをし、教室ではオンラインで鑑賞をしました。他の学年の演奏を目の前で聴くことや、地域の方をお招きして発表することも４年ぶりのことでしたので、一層熱心に練習に取組み、当日は心を一つにして発表しました。地域の方から「元気をもらいました」「『まっかな秋』の歌が懐かしいね」などの感想を寄せていただきました。“感謝の気持ちを届けたい”という子ども達の心を、曲にのせて届けることができました。

持久走大会　１１／２１

秋晴れの日に、持久走大会を行いました。ランランタイムを通して少しずつ体力をつけ自分にあった走り方を見つけたり、自主練習を重ねて目標タイムを縮めたりするなどして、自信をつけた子がたくさんいました。当日は、たくさんの保護者の皆様に参観をいただき、子ども達みんなに温かな拍手や声援をいただきました。スタートの瞬間は、ゴールが遠く感じて不安や緊張でいっぱいな表情でしたが、声援を力にして一歩ずつ足を踏み出して一生懸命走りました。

がん教育講演会　６年生

日立製作所ひたちなか総合病院のがん診察専門医の先生にご講話をいただきました。

栄養バランスの良い食事、十分な睡眠、適度な運動など、生活習慣を整えることが健康維持に欠かせないことや、日本は、先進国の中でもがん検診を受ける割合が低いことを知りました。人生１００年の時代を生きるために、健康な体つくりを意識しました。

教職員のスキルアップ

市や県教育委員会の訪問指導では、授業参観や協議会を通して、授業づくりや児童の心の育成について指導や改善のための助言をいただいています。11/28 は全学級を参観していただきました。タブレットでレポートを作成して全体で共有したり、友達との意見交換に活用したりなど、学年に応じた ICT 活用を進めています。話合いや協働作業の場面では相手の考えを聞いて感心したり、新たな考え方を見つけたりするなど、生き生きと学習に取り組んでいます。考え方の違いやよさを認め合える関係づくり、授業改善に努めてまいります。

二中学区の子どもを地域で支える会　１１／３０

この会は、学区内の子どもの健全な育成を目的に、二中学区の幼稚園小中学校、各 PTA、各自治体、輪をつくる会、民生委員児童委員、子ども会育成連合会、保護司会、青少年相談員の代表で構成されています。

今年度は、代表者約２０名の方に津田小学校の授業を参観していただきました。真剣に話を聞いて授業に取り組む様子やタブレットを操作して熱心に調べ学習をする姿に感心されていました。

懇談会では、各学校の教育活動を紹介し合い、その中で、津田コミセン副センター長から、「移動博物館は、活動の目的の明確さ、実現に向けた熱意と地道な努力、人とのつながりによって実現した」という体験談を伺いました。移動博物館によって津田小の子ども達は恐竜にとても興味がわきました。また、津田コミセンまつりに向けて、伝統文化クラブの子ども達が心を一つにして一生懸命練習をしています。子ども達の成長に、地域の力が大きく関わっていることを感じます。今後、この会や輪をつくる会と共に、学校、PTA、地域の連携・協働活動について考えていきます。